

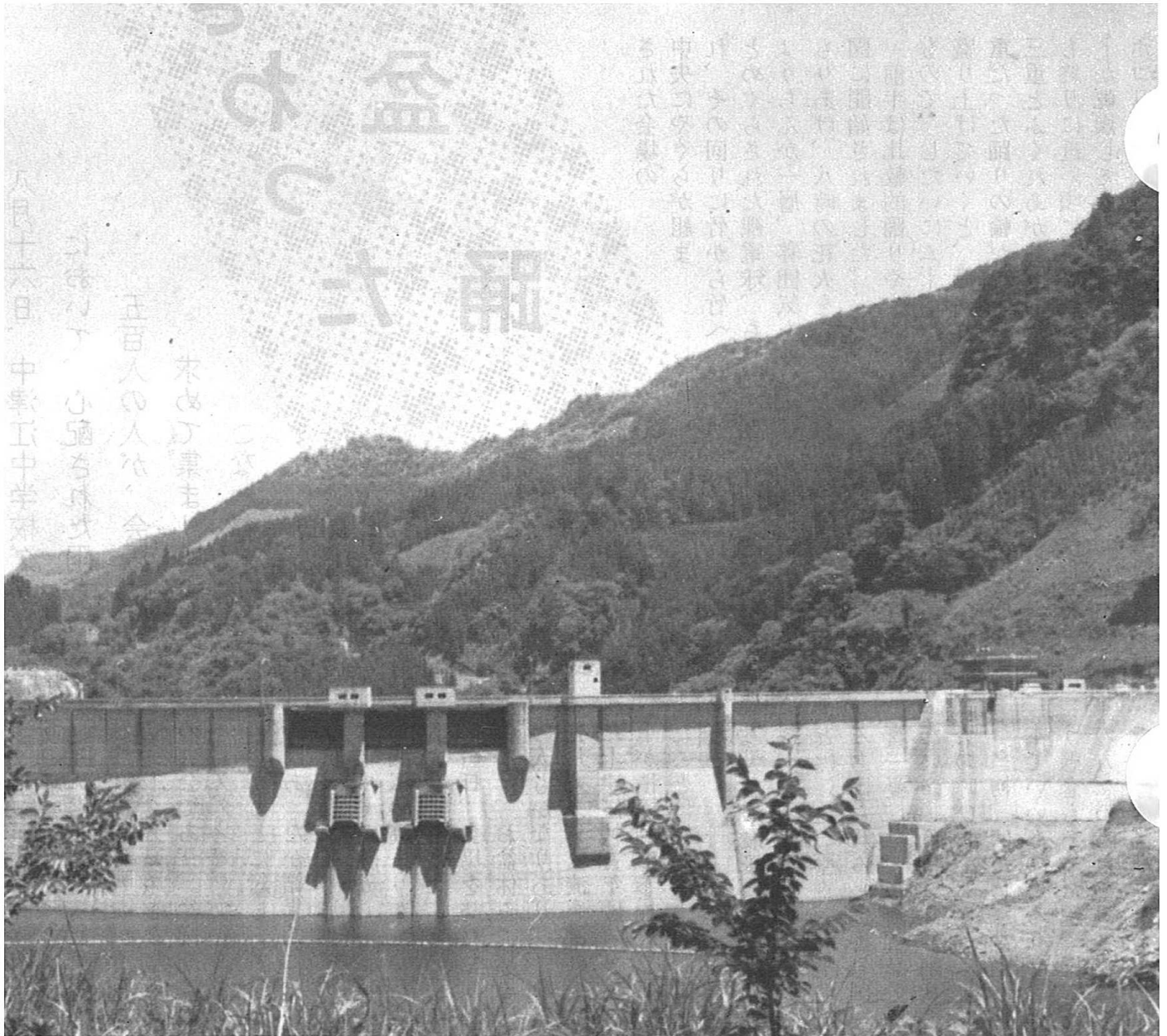
広 報

な が つ 光

49年 9 月号

第129号

発 行 所
編 集 発 行 人
大 分 県 ・ 日 田
中 津 江 村
斉 藤 隆 一



人口の動態

昭和49年 8 月31日現在
人 口 2,506人
男 1,187人
女 1,319人
世帯数 620戸

秋の下筈



青年団主催
 婦人会協賛により、
 おこなわれた第六回盆踊り
 大会も今ではすっかり恒例
 となり、夏の夜を楽しませ
 てくれました。
 ようかん幕が張りめぐら

された会場の
 中央にやぐらが組ま
 れ、その回りに竹から竹へ
 とめぐらされた裸電球、ち
 ようちんが一層、雰囲気をも
 りあげ、八時の火花を合
 図に開始されました。
 前半は比較的踊りやすい
 もので、しだいにムードを
 盛り上げていくと、最初一
 重だった踊りの輪が二重、
 三重とふくれあがり、前半
 も終りに近い頃にはグラン
 ドが乾燥しているせいか、
 ホコリと熱気でどの足もま

つ白になる始
 末。中盤になると、
 中津江民謡保存会のメンバ
 ーにより、団七踊り、青山
 心中が披露された。これは
 昔から八所地方に伝わる伝
 統ある踊りということであ
 ったが、練習不足であった
 ためか納得のいく出来ばえ
 ではなかったようで観客に

大会の最後は恒例の福引
 き大会。人数は幾分減った
 とはいえ、やぐらの上で読
 みあげられる当選番号に一
 喜一憂。たいした賞品では
 なないしろやはり盆踊り大
 会の呼び物である。
 当初、はたして盆踊り一
 本でいいものだろうかとい
 う懸念もあったが、婦人会
 の方々の協力を得ることが
 でき、地区別に練習を行な

ったこともあり、その成果
 はあったと思われる。ただ
 一応の成功はおさめたとい
 え、会場が中津江中学校

というところで、会場近辺の
 方々は積極的に練習に参加
 し、当日は大会を盛り上げ
 てくれたものの、会場より
 遠隔地のため参加したくて
 もこれなかった地区の方
 方も相当あったということ
 で、非常に残念なことであ
 ると同時に、全村民を対象
 とした行事であるという観
 点からすれば、遠隔地の方
 方には大変申し訳ないこと
 であり、今後に残される最
 も大きな問題であると考え
 られよう。



盆 踊 っ た り

にぎわった

八月十六日、中津江中学校グラウンド
 において、心配された雨もなく
 五百人の人が、会場に涼を
 求めて集まり盛大にお
 こなわれました。

とつても、いささか期待は
 ずれのようであった。
 再び火花が打ち上げられ
 後半が開始された。今回は
 フォークダンスをまじえて
 の大会であり、盆踊りにフ
 ォークダンスを取り入れる
 ということに対し、多少問
 題はあったが結果的には非
 常にうけ、年も忘れて踊り
 に熱中する姿からも会場の
 雰囲気の高まりがうかがえ
 るようであった。

当日、会場を訪れた人の
 中には、お盆休みで帰省中
 の人もかなりあり、また、
 先月末より交流を深めてき
 た上津江村青年団のメンバ
 ーが積極的に参加してくれ
 たことは嬉ばしいことであ
 る。

愛の手で

老人福祉

最近の物価の動向、経済情勢は国民生活、とりわけ老人層へ大きな影響を与えています。こうした時に、

今までの高齢者対策をいっそう拡大し、老人福祉法の精神を具体化した総合的対策を確立することは急務であり、国、地方公共団体を

はじめ、国民一人一人の問題として真剣に考え、対応していく必要があります。

この運動は、このような考えに立って、老後に生きがいをもつことを、国民全体が老後のしあわせを高めるために、次の四点を重点に推進します。

(1) 孤独死老人ゼロ運動。ひとりぐらし老人やねたきり老人などが孤独な生活のはてに、だれにもみとられずに悲かな事故を起こすようなことをなくすために、ひとりぐらし老人に対する

福祉サービスの充実をはかる。

(2) 老後のくらし安定と健康を高める運動。安心してくらしらせる老後のために、働く機会の確保、所得および医療保障などの拡充運動をすすめるとともに、老人自身もすすんで健康診断をうけ健康保持につとめる。

(3) 老人のための住みよい生活環境づくり。老人向き住宅の設置、住

居の改善をはかるとともに老人の住みよい村づくり運動をすすめる。

(4) 生きがいある老後のための条件づくり。老人自らも積極的に社会の一員として生活し、活動

できるような老人の役割を考え、個人、家庭、企業、地域社会などのやるべき目標を明らかにして、生きがいある老後のための条件づくりをはかる。



長寿おめでとう

敬老の日

写真は山田ナツさん



中津江村で最も長い歴史を歩いてきた人、山田ナツさん(才野) ナツさんはいくぶん耳は遠いようだが、まだまだ元気。それで、こちらの質問に終始、笑顔で答えてくれました。

「お婆さん、おいくつですか?」

「かぞえて九十一……」

「明治十八年十月十日生。好きなものは?」

「食べる……ゴハンも三度三度食べれる。おかずもかたいもんはつまらんけど」

「楽しいことは?」

「子どもが着るもんや、食べもんを送ってくれることやろ」。

「……現在、中津江村で八十才以上の方が五十八名います。いつまでも元気で過ごされるように。」

昭和四十九年

秋の

全国交通

安全運動

この運動は歩行者、運転者、運転者の雇主、その他陸上交通に関係あるすべての者に、交通安全思想の普及徹底を図り正しい交通ルールの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図ることを目的に実施するものです。

「交通事故をおこさない交通事故にあわない」。この運動に村民一体となり、参加しましょう。

実施期間

◎九月二十一日〜九月三十日

◎「歩行者、とくに老人と子どもを交通事故から守ろう」

「スローガン」



早朝ソフトボール終る

優勝はトシヨリーズ

(六勝一敗)

惜しくも丸蔵チーム 決定戦で敗るる

	美津和連合	野田	ロートルドッグ	ロートルチキン	アストロ川辺	トシヨリーズ	栃原	丸蔵	勝	敗
美津和連合	○	×	×	×	×	×	×	×	2	5
野田	○	○	×	×	×	×	×	×	2	5
ロートルドッグ	×	○	○	○	×	○	×	×	4	3
ロートルチキン	○	○	×	○	×	○	×	×	4	3
アストロ川辺	○	×	×	×	○	○	○	○	3	4
トシヨリーズ	○	○	○	○	○	○	×	×	6	1
栃原	×	○	×	×	×	×	×	×	1	6
丸蔵	○	○	○	○	×	○	○	○	6	1

七月から約二ヶ月間におたり行なわれた早朝ソフトボールはトシヨリーズ(田ノ原、引野、原部、八所)の優勝で幕を閉じました。各チームの成績は上記の表のとおりで、丸蔵、トシヨリーズの二チームが共に六勝一敗となり、

二日、決定戦を行ないトシヨリーズの優勝となりました。

各チームの監督、選手のみなさんおつかれでした。なお表彰式は十月十日、体育の日におこないます。

第六回 村内水泳大会

14個の新記録

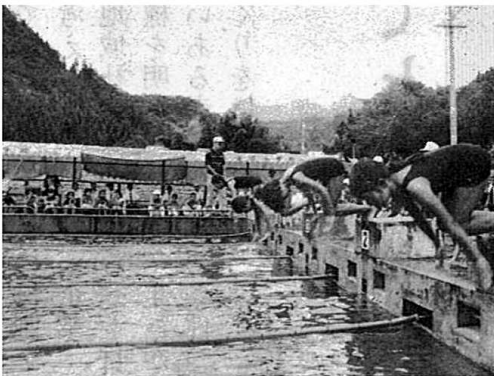
九月三日、第六回村内水泳大会がおこなわれました。午前中ときおり小雨がぱらついていたが、選手のおさめたのか、午後は、真青に晴れあがり大会を盛りあげました。なお大会新記録

は次のとおりです。
「小学校の部」
六年背泳二十五メートル、

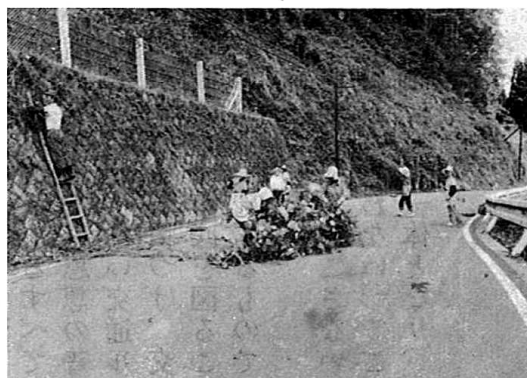
伊藤和彦(鯛小)、六年平泳五十メートル、石永次男(川小)、六年背泳五十メートル、伊藤和彦(鯛小)六年百メートルリレー、鯛生小。

「中学校の部」

二百メートルメドレーリレー、中津江中、百メートル自由、河津和彦(中)、百メートル背泳、平野和生(中)、百メートル背泳、伊藤弘美(中)、五十メートルバタ、川村元枝(中)、二百メートル自由、河津和彦、石川元和(中)、二百メートル平泳、渡辺繁樹(中)、四百メートルリレー一年、中津江中、二年、中津江中、以上十四個の新記録がうまれました。



ありがとう
ございました
道路愛護作業



九月二日から一週間におたつておこないました道路愛護作業、皆さま本当にご苦労さまでした。おかげで県道、村道とも草刈り、側溝さらえ、またバラスの散布が立派にできて、道路がスツキリとし、いきいきと感じられるようになりました。日田土木事務所長からも皆さま厚くお礼を申し上げます。重ねて有難うございました。

投 書

丸蔵婦人会は

丸蔵婦人会は、昨年より支部長がいなく、副支部長会計、記録、村の役員など少人数で一年間活動をしました。でもやはり支部長がいなくては会のまとまりもつかず、ずるずるになりがちでした。

今年こそは良き支部長をと願うアンケートを作り、会員に出したところ、「会には必要だ、活動すべきだ」と、言う人が多いので、この調子では入会者も多く大いに活動するものと、今度あらたに会員名簿を作り、出したところ、帰ってきた結果は入会者、わずか十二名でした。これでは活動しようもなく、また昨年と同じです。丸蔵婦人会はやめざるをえません。教育委員会の人や会長さんには大変ご迷惑をかけ、

長い間、惑っている丸蔵支部をなにかとあれこれ手助けしていただきましたが、期待にそう事ができず、心苦しう思っています。

でも、またいずれは丸蔵支部もよき支部長さんが誕生して活動してくれることを期待しながら、ここに筆を置きます。

国民健康保険（48年度）医療費はこのように

昨年度の中津江村国民健康保険を利用した結果が次のように表われました。

診療総額↓六千四百七十三万八千二百十一円。これは入院、通院、歯科すべてです。

国民健康保険資格者（被保険者）、一人当たりは何と三万四千九百三十七円で、このうち三割は皆さんが直接支払い、残り七割を保険会計が支払っております。本村は大分県の中で、一人当りの医療費がきわめて高い方に位置しております。医療費が高くなれば保険税もそれ相応に納めることになりす。病気が早いうちに治療し、早く直すことが第一です。

診療の内訳↓診療件数（一つの病気を一件）は総数一万四十四件、入院二百九十一、入院外八千三百五十四、歯科一千三百九十九件となっております。一人が年間平均五・四回、また一つの病気で三・八日お医者さんを訪れたことになりました。

老人医療は無料というけれど

老人医療は無料といわれます。たしかに老人が自分の金（三割分）を出すことはなくなりました。これは国、村が負担しておりますが七割は保険から支払っております。昨年度一年間で一千八百九十八件、診療総額二千四百四十八万円となりました。

ポイント (1)

私たちはひとりですべて生きていくことはできません。多くの人々と物によって生きていくのです。

ガス

○わかす湯の量や、お料理の量にあった大きさのなべや、ヤカンを使わないとガス代が損です。

※ガスの火を遊ばせてはいませんか？

○さきにガスの火をつけて底のぬれたなべを、あとから火にかけることはこの上ないガスのムダ使用です。

※いらぬものまで、火にかけてはいませんか？

○必要以上のお湯をわかしてはいませんか。お湯は必要な量だけわかしましょう。

☆家庭用液化石油ガスの標準価格が十キロ、一千三百円から一千五百円（配達料別）になりました。

※底のまるいなべや、ヤカンを使ってはいませんか？

○底の平らななべや、ヤカンを使った方が熱が外にもれないので、たいへんおとくです。

※炎の大きさを、うまく調整していますか？

○煮ものやゆでものは、沸とうしたら火を弱めましょう。強火の連続では水が蒸発するだけです。

※なべの大きさに気をくばっていますか？

しろ？
くろ？

第3回

囲碁大会

第三回中津江村囲碁大会は、八月十七日(土)午後一時より、中央公民館で村長はじめ村内の同好者多数が集まり行われました。中津江中学校の田中、猪



俣(五段)の両先生は、この大会のために、夏休中での大会のため、夏休中より出校され学校より沢山の碁盤を持参し便宜をはかって頂くと共に碁会で好成績

昭和四十九年度

警察官採用試験

○受験資格

昭和二十二年四月二日～昭和三十三年四月一日までに生れた男子。(但し、四年制の大学を卒業した者、または卒業見込の者は、この試験を受験できません)

○受付期間

九月十七日～十月十九日。

○受付場所

○第一次試験

十月二十七日。(日曜日)

○共同試験

次の都府県のうち希望するところを受験できます。

(大分県・埼玉県・警視庁
神奈川県・愛知県・京都府
大阪府・兵庫県・奈良県)

○問い合わせ先
県下各支署。

をあげました。

大会は、A B Cの三組に分かれ、優勝権の争奪戦で熱戦が展開され、歓声や、嘆声の上る中で勝敗がつぎつぎと決まり夕刻盛会のうちに終了しました。

また矢野教育長はA組で第一回の大会に続き二回目の優勝を飾り大いに氣勢をあげました。

各組の成績(二位までは次のとおり)

- A組 (二位以上) 優勝 矢野時雄(二段)
- B組 (三位～六位) 優勝 児塔民和(一位)
- C組 (七級以下) 優勝 永瀬 宝(七級) 二位 水野英男(八級)
- 二位 岩下和生(三級)
- 二位 広石史朗(六級)

森林組合だより

杉	丸	太
4 m	3～6	39,000円
	7～12	32,000
	13～16	41,200
	18～28	41,200
	30以上	53,000
3 m	3～6	37,000
	7～12	23,500
	13～16	34,000
	18～22	31,000
	24～28	34,000
30以上	52,000	
2 m	3～7	16,000
	8～18	20,000
	20以上	22,500

森林組合では各種資金の借入申込の受付を行なっていますので、ご希望の方はなるべく早めに申込ください。資金の種類は左記のとおりです。林経(取得資金)最高四百万円、利率年四・五%。林経(維持資金)最高六十万円、利率年六・〇%。造林資金は植付下刈に要した費用の八割以内、利率年四・五%。くわしいことは組合まで問合せ下さい。

「共販報告」……八月三十一日の共販結果は左記のとおりです。

風邪にご注意

初秋ともなれば昼はまだ相当暑いのに、夜ともなれば急に冷え込み、一日の気温の差がはげしく、寝冷えを起こしがちです。特に子供さんの健康に注意しましょう。

雑記

※日増しに秋の気配が濃くなり、朝夕はひんやりとした涼しい風が、袖や襟にしのびこんでくるようです。縁側に寝ころびながら聞く虫の声は、自然のやさしさや美しさを教えてくれるようです。

※打ち上げ花火のシーズン。運動会”の合図が朝早くから鳴りひびきます。

前日は、お母さん、お子さんにとって空模様は気になり落着かない日。秋空の下で白い帽子、赤い帽子が大きく大きくはばたきます。